

【ウイルスとの長（なが）い付（つ）き合（あ）い】

感染症 ウイルスと長い付き合い

天然痘(苗そう)
古代エジプト時代からあったといわれる。ワクチンが普及し、WHOは1980年に根絶を宣言した。

ベスト
14世紀は世界中で病人が死んだ「黒死病」と呼ばれおそれられた。その後も、たびたび流行した。

新型コロナウイルス
世界で感染者が増えている新型コロナウイルス。肺炎など重い呼吸器の病気を引き起こす。

SARS
2002年と中国・香港を中心に流行した。台湾で29人以上が感染し、約800人が亡くなった。

スペインかぜ
1918年にアメリカとヨーロッパで流行が始まり、世界で2千万〜5千万人が亡くなった。

感染症って？
病原の集団になる小さな動物やウイルス、寄生虫などが、人の体内に入ることによって起きる病気です。症状が現れる場合と現れない場合があります。

流行おさえるワクチンに期待
世界中で急速に広がっている新型コロナウイルス。5年以内には中国・武漢で発生した肺炎の患者が確認されており、イタリアやスペイン、アメリカなどでさらに感染が拡大しています。2020年、日本でも感染が拡大していることが明らかになりました。ワクチンが完成すれば、感染を抑え、重症化を防ぐことが期待されています。ワクチンには、ウイルスが体内に入らないように予防接種し、体内で複製しないように免疫を育てる働きがあります。ワクチンが完成すれば、重症化を抑え、感染を抑えることが期待されています。

ミイラに天然痘の痕 / 次つぎ流行、ウイルスと共存へ

大昔から人に感染する病気がありました。人間が集落を作り農耕を始め、人口が増える、よりたくさんの方々の間で病気が広まるようになり、家畜と暮らす、始めと、動物から新しい病気が移りやすくなりました。

古代エジプトのミイラに天然痘の痕とみられるのが見つかっています。日本の奈良時代にも、天然痘の流行とみられる記録があります。ベストは、たびたび世界各地で大きな流行をくり返しました。スペインかぜのような新しい病気の流行もありました。19世紀ごろから、肺炎の原因となる細菌、ウイルスなどが発見されるようになりました。ワクチンや肺炎の原因をやっつける薬の開発が進み、予防や治療が改善されました。

一方で近年、SARSや2019年から流行した中東呼吸器症候群(MERS)など新ウイルスの発見と感染症の流行が続いています。山本さんは「開発がすすんで人間がむやみに、手つかずの自然の中に入るようになり、重い病気をうつすウイルスも出てくる。世界でこれまでに流行した感染症は、ほかにどんなものがあるかな。」

「新型コロナウイルスの爆発的な流行はおさえるべき」という山本さん。ただ今後、新しい感染症の発見や、流行は続くことが考えられます。「最終的にはウイルスと共存していくべきでしょう」

あすはワクチンについて解説する予定です。

送り先 朝日小学生新聞「見るみるわかる！」係
asasho@asagaku.co.jp
〒104-8433 (住所不要)
03-3545-0727
紙面で紹介することもあります。〒住所、名前(ふりがな)、電話番号、学年も書いてください

言葉屋
児童書の新定番
シリーズ累計8万部
朝日小学生新聞社

【朝日小学生新聞 4/27 より】

こうやって見(み)てみると、人類(じんるい)は、かなり大昔(おおむかし)から、いろいろなウイルスや感染症(かんせんしょう)とたたかってきたんですね。

その都度(つど)、その時々(ときどき)の人たちの知恵(ちえ)と行動(こうどう)でそれを乗(の)り越(こ)えてきたんですね。今(いま)、私(わたし)たちができること、それは、家(いえ)に居(い)ること。今はがまんの時(とき)です。

ゴールデンウィークも家(いえ)で過(す)ごすことになるかと思(おも)いますが、それぞれの家庭(かてい)で話(はな)し合(あ)って、こういう時(とき)だからこそできることにチャレンジしてみてください。